

令和3年度 事業計画

私たちが国の障害福祉サービスの一元化に呼応した形で、支援現場での三障害一元化を目指し組織を立ち上げて8年が過ぎました。競争原理や生産性で人を見る経済優先の価値観では、制度は一元化されても、障害者の存在は依然として危うい立場のままです。

昨年来、私たちは予期せぬ新型コロナウイルス感染症に世界中が襲われています。令和3年を迎えても未だ収まる様子のない新型コロナウイルス感染症による災害は、平常時以上に障害者を支援し守っていくことの困難を私たちに強いています。そうした中で障害福祉サービス事業を通じ、変わらぬ支援を続けるために、私たちには何が出来るでしょうか。

私たちはその困難に立ち向かい、組織の充実を目指し、障害者の存在それ自体を我が事とする価値観を持って、今年度も以下の諸事業に真摯に取り組めます。

1 総会、理事会等会議

- (1) 総会 年2回
令和3年6月、令和4年3月
- (2) 理事会 年2回
令和3年5月、令和4年2月
- (3) 監事監査 年1回
令和3年5月
- (4) 会長・副会長会議 随時

2 委員会

- (1) 組織運営委員会 適宜
規程の整備ほか、会の組織運営、組織強化に関する案件等を協議する。
- (2) 研修委員会 年3回
研修の企画及び運営に関すること等を協議する。
- (3) 広報委員会 年3回
広報に関する企画及び情報発信に関すること等を協議する。

3 部会

各部会において、事業所の課題、要望及び部会が実施する研修などについて協議する。

- (1) 介護部会
- (2) 就労部会
- (3) 自立訓練部会
- (4) 居住部会
- (5) 相談支援部会
- (6) 児童部会

※なお、適宜、部会ごとに部会運営について協議、意見交換の場をもつ。

4 研修事業

研修委員会の「令和3年度研修事業計画」に基づき、各部会での課題を考慮したテーマ別研修を実施する。必要に応じ、職位別研修も検討する。

(1) 第1回研修会

タイトル 「コロナ禍での事業継続と障害者雇用について」(仮題)

開催時期 5、6月頃

内 容 ①障害者雇用実践報告

②コロナ禍の対策、補助制度等の、事業継続のための工夫を学ぶ。

実践報告 ①東海カーボン(株)板村隆志 氏

講 師 ②未定

(2) 第2回研修会<<特別研修>>

タイトル 未定

開催時期 6、7月頃

内 容 報酬改定について

講 師 未定

(3) 第3回研修会

タイトル 未定

開催時期 8、9月頃

内 容 福祉職に必要なコミュニケーション、ビジネススキルを習得する。

講 師 未定

(4) 第4回研修会

タイトル 「事業所が支える『生』と『性』」(仮題)

開催時期 10、11月頃

内 容 支援現場での『生』と『性』について、事例から悩みと工夫を共有する。

(5) 第5回研修会

タイトル 未定

開催時期 1月頃

内 容 精神疾患の講義、質疑応答、事例に基づいたカンファレンス

講 師 帝京平成大学 池淵恵美 先生

5 要望活動に関する事業

(1) 自由民主党山口県連要望

(2) 山口県総合社会福祉大会種別部会報告

(3) 公明党山口県本部「企業・団体等との政策懇談会」

(4) 山口県知事要望

(5) 山口県経営協「国会議員との懇談会」

6 情報提供、広報に関する事業

(1) 「障サ協通信」発行 年4回

(2) ホームページによる情報発信

(3) 国や県、関係機関等からの情報提供

7 表彰の実施

- (1) 山口県障害福祉サービス協議会 会長表彰

8 関係機関との連携その他の事業

- (1) 中央及び中国四国種別協議会等との連携協力
 - ① 全国セルフ協との連携
 - ② 中国四国社会就労センター協議会との連携
 - ③ 中国四国社会就労センター協議会職員研修会への参加
- (2) 県内関係機関団体等との連携協力
 - ① 山口県
 - ② 社会福祉法人山口県社会福祉協議会
 - ・ 福祉人材確保・育成・定着に関する取組への協力
 - ・ 福祉の仕事の魅力発信に関する取組への協力
 - ・ 福祉の輪づくり運動推進への協力
 - ③ 山口県社会福祉法人経営者協議会
 - ④ 特定非営利活動法人山口県社会就労事業振興センター
 - ⑤ 一般財団法人山口県知的障害者福祉協会
 - ⑥ その他県内の関係機関団体等との連携協力

9 災害支援活動

- (1) 「災害時における福祉支援に関する協定」に基づく災害支援活動